

# 第1回 第3次向日市環境基本計画策定委員会

## 会議録（要約）

開催日時 令和3年5月18日（火）午前9時00分～11時05分

開催場所 オンライン会議（環境政策課）

出席者 （13名）

三輪 信哉	大阪学院大学国際学部 教授委員長	委員長
岩渕 善美	平安女学院大学国際観光学部 教授副委員長	副委員長
永安 正洋	日本電産株式会社 IR・CSR推進部長	
脇本 一孝	イオンモール株式会社 イオンモール京都桂川 オペレーション・マネージャー	
宇津崎 則子	向日市商工会 女性部長	
西川 克巳	向日市観光協会 会長	
平野 律子	第3向陽小学校 校長	
藤原 京子	市民公募	
長谷川 みゆき	市民公募	
木原 浩貴	京都府地球温暖化防止活動推進センター 副センター長	
太田 敦士	京都大学大学院農学研究科・技術職員	
五十嵐 真由美	京都府乙訓保健所 技術次長兼環境衛生課長	
林 千香	向日市環境経済部長	

欠席者 （1名）

小山 清一 向日市区長会

事務局

木村 正義	向日市環境経済部主席課長(兼)環境政策課長
横山 由美子	向日市環境経済部環境政策課主幹(兼)環境対策係長
吉川 真由	(株)サンワコン 地域計画部
宅間 和記	(株)サンワコン 関西支店

## 次 第

### 1. 開会

### 2. 委員長及び副委員長の選任

### 3. 協議事項

- (1) 第3次向日市環境基本計画(含む地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定について
- (2) アンケート調査について

### 4. その他

- (1) 次回策定委員会について

### 5. 閉会

#### [配布資料]

- ・ 資料1 第3次向日市環境基本計画(含む地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定について
- ・ 資料2 アンケート調査について
- ・ 資料3 アンケート調査票(市民)
- ・ 資料4 アンケート調査票(事業者)

## 1. 開会

### 安田市長あいさつ

---

(省略)

### 事務局

---

(役員紹介 省略)

## 2. 委員長及び副委員長の選任

### 事務局

---

環境委員会設置要項第5条に基づき、本策定委員会の委員長、副委員長の選出についてお願いしたい。

### 委員

---

大変難しい問題なので、知識豊富な、経験豊富な学識経験者に委員長、副委員長をお願いしたいので、委員長に三輪先生、副委員長に岩渕先生を推薦したい。

### 事務局

---

委員長に三輪先生、副委員長に岩渕先生という声があったが、拍手で承認をお願いしたい。意義なく賛同いただいた。

委員長に三輪先生、副委員長に岩渕先生が決定したので、代表して三輪先生より新任の挨拶をお願いする。

### 委員長あいさつ

---

(省略)

### 事務局

---

今後の議事進行については、要項第6条に基づき、委員長に議長をお願いしたい。

本日は、新型コロナウイルス感染防止対策の為、ZOOMによるオンライン会議として開催し、会場では座席の間隔を空けていること、市職員一同マスク着用で対応していること、了承したい。

また、質疑応答の際、発言される方以外は、会場参加の議員はマイクをオフに、WEBで参加の議員は、画面左下のマイクをミュートにしてほしい。

それでは委員長、お願いする。

### 委員長

---

それではここから議事進行する。声が聞きにくい時は、はっきり言って欲しい。

議事に先駆けて、事務局より資料の確認をお願いする。

## 事務局

---

(資料確認)

## 委員長

---

資料が手元にあるという事で進めさせていただく。

まずは、会議公開について、本会議は原則、公開で運営されることになっている。本日の議事事項については、向日市情報公開条例第6条(5)のいずれかに該当して非公開とすべき情報は含まれていないので、本日の会議は記録の上、会議録を作成し、ホームページで公開するとともに傍聴を許可するので、よろしく願いしたい。

それでは、傍聴はいかがか。

## 事務局

---

本日の傍聴希望者は4名いる。

## 委員長

---

4名ということは、定員ということではないか。

## 事務局

---

定員は5名になっている。

## 委員長

---

承知した。

## 事務局

---

それでは傍聴者の方に入室していただく。

## 3. 協議事項

### (1) 第3次向日市環境基本計画(含む地球温暖化対策実行計画(区域施策編))の策定について

## 委員長

---

準備が整ったので、議事に入る。

手元の次第に基づき、順に進める。

議題1 (1) 第3次向日市環境基本計画(含む地球温暖化対策実行計画(区域施策編))の策定について説明をお願いします。

## 事務局

---

(資料説明)

## 委員長

---

只今説明をいただいたが、ご意見、ご質問等いただきたい。

先ほど同様、挙手をお願いしたい。

## 委員

---

前は6回だった会議のスケジュールが、今回は5回の予定に減っているのはどうしてか。

## 事務局

---

現在は5回の予定になっているが、議案の内容によっては1～2回追加など、皆様に協力をお願いすることも考えている。

## 委員

---

市民公募で今回初めて参加させていただく。気候ネットワークの講演を聞きに行く機会があり、この4年間が行動するべきとても大事な時期ということで、地域社会でも何かできることがあるのではないかと、子供が二人いて忙しく生活しているが、市民目線で何かできることはないかと思い、参加した。

今回、環境基本計画を全く知らなかったの、資料を見たりしたが、市から送られてきた資料だけではわからないので、前回の2次や1次の計画内容と進捗状況について教えていただきたい。

また、他の委員も計画書に目を通してもらった方が良いと思うがいかがか。

## 委員長

---

非常に貴重なご意見だが、事務局でポイントを要約して欲しい。

## 事務局

---

最初の質問だが、第3次計画を策定するにあたり、1次と2次の、特に2次の計画書の冊子が欲しいという要望だったので、プリントアウトして希望者には配る。

もう一つは、進捗状況についてで、これは2年遅れになるが、今年だったら、2019年度の環境基本計画の進捗状況をホームページにアップしている。わかりづらくて申し訳ないが、よろしくをお願いしたい。

## 委員長

---

市のホームページに計画書がアップされているが、非常に膨大で、ファイルが20個くらいあるので、なかなかダウンロードして印刷するのは手ごわいと思った。

印刷して委員に配るといのはどうか。必要ない人は言って欲しい。特に異論がなければ、送ってもらうことでよいか。

## 事務局

---

事務局で準備する。

## 委員長

---

それから、これまでの評価の部分についても印刷して欲しい。

## 事務局

---

準備する。

## 委員長

---

委員、それでよいか。

## 委員

---

はい、願います。

## 委員長

---

それではよろしく。

他の委員の方、ご意見、ご質問よろしいか。

## 委員

---

この計画の体系を見ると、地球環境が5番目になっているが、これからは、これが一番トップにこなければすべての事が解決できないのではないかと。地球環境をトップに持っていき、そこからスタートしていきたいがいかがか。

## 事務局

---

委員の意見は、前回の基本計画の概要版の中で、私たちが取り組むべきこととして1～6番の課題を挙げている。この中で、地球環境の項目が5番に挙げられているが、それを1番という扱いで、重点的に進めてはどうかという意見だった。

## 委員長

---

優先順位として、地球環境を最初に持つべきいう事について意見はあるか。

これについては喫緊の課題で、総力を挙げて取り組んでいく事は当然あるが、例えば、アンケートで市民や事業者の求める項目を最初に持つていくこともあるかもしれないので、もう少し様子を見ながら整理した方がよい。今の時点で委員の言われることは共通意識として持つていただき、今後検討するという事でいかがか。

## 委員

---

私の気持ちとしてはこれがトップだと思う。気候ネットワークの説明会へ行った際、本当にこれは今すぐ何か、市全体、府全体でやっていかなければならないと感じたので、追々これをメインにしていけたらと思う。

## 委員長

---

他に意見はあるか。

チャット上で意見があった。地球温暖化防止は非常に重要なので、これを優先的に取り組んで欲しいということだ。

チャットにどんどん意見が入ってきてこれは便利。こういう方法を会議に取り入れるのは

初めての試みだが、送ってくれたら、それを拾いながら進行する。

## 委員

---

前回の計画策定時は、ワークショップをしているが、どんなことをして、どんな雰囲気だったのか教えてほしい。

## 事務局

---

前回、合計3回ワークショップを開いている。その時々議案が出てきた時に、人数や雰囲気は把握できていないが、検討事項として第1回は現状における課題について、第2回は環境基本計画の課題・骨子案について、第3回は原案についてということで、ワークショップを開催している。

## 委員

---

今回の策定委員会は5回という事だが、あまりにもスケジュールがタイトで、思いを伝える機会や話し合える時間が少なく、すごく気が焦っている。

環境問題に取り組むにはみんな考えて協力し、体制づくりが大事だと思う。

ワークショップがあれば、ママ友や近所のおばちゃんなど敬語を使わなくても気楽に話せる。どこで誰とやるかというのを考えて、この計画に活かせるとよい。

## 委員

---

本当にそう思う。

ワークショップの他に環境教育を推進するとあるが、どの程度のことをしているのか知りたい。

例えば、委員のところでは出張講座をして、学校で勉強会を開いている。子供のころから環境問題意識を身近に感じてもらい、家に帰って両親にこんなことを学んできたと言えば、今度は家庭の中で理解が深まるかもしれない。学校教育の中に環境教育、学習を入れていくのは非常に大事なことだと思う。

私は絵本の専門店をやっていて、本を通じて子供がいろんなことを学んでいくのを目の当たりにしているので、そういう教育とか本とかは、子供たちに大事だと思うので、考えていけたらと思う。

## 委員長

---

少し整理すると、最初の委員の意見では、ワークショップを開いて市民の意見を集めて反映させてはどうか。そうすれば、いろんな人の意見を聞くことが出来るという事。

それから、環境教育、環境学習を大事にすべきという意見。

市民ワークショップについて、事務局は何か考えているか。

## 事務局

---

これから市民アンケートなどやっていき、いろいろな意見が出てくると想定しているので、その中でワークショップが必要と判断した場合は開催したいと思っている。

## 委員

---

今の話だとアンケート等で意見を拾った上で必要に応じて検討するという事だが、市民ワークショップは是非ともやってもらいたい。

例えば、与謝野町が昨年度、地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定している。そこでは、何回も市民ワークショップをやって、2050年の与謝野町の姿をグループに分かれて、産業や暮らしについて、文字通り絵に描いていき、最後は一枚の絵にまとめていくという作業を踏まえて、それが計画に反映され、それを目指すという事になっている。私も支援という形で入ったが、非常に面白い。自分たちの想いを絵にするかどうかはともかく、一緒に作り上げていくというプロセスが非常に魅力的だった。逆に将来の絵が描けていないと目標に脱炭素を挙げたところで、それを自分たちのものとして受け止められないという事があるかと思うので、今、提案のワークショップが、どんな形で出来るかを検討していく必要はあるが、出来るといい。他の町の事例も取り上げながらの提案だ。

## 委員長

---

委員の貴重な体験、ありがとう。

何回ぐらい開催したらよいか。

## 委員

---

与謝野町では、ワークショップ自体は3回。その前後の会議等もあり、6～7回やりながら作り上げていた。事務局案を微修正するだけでなく、計画の文言案も自主的に書こうという機運になり、町民が分担して書いて作るなど、面白い雰囲気になっていった。

ワークショップで環境基本計画を作った例は、舞鶴市で2050年の姿を描くというワークショップをやった事例がある。

## 委員長

---

今、委員から体験話があったが、皆様はいかがか。またこれは事務局の考えも左右されてくるわけだが、いかがか。

## 事務局

---

皆様の意見を踏まえながら、必要に応じてやっていきたい。

## 委員長

---

今の発言は、検討すると理解してよいか。

## 事務局

---

はい。

## 委員長

---

この場でYES・NOは言えないが、検討するという事でよいか。

## 事務局

---

はい。



## 委員

---

いろんな制約条件もあると思うので無理にという話ではなく、提案ということで受け取ってほしい。ニュアンスが間違っただけで伝わってたら申し訳ない。

## 委員長

---

いえ、とんでもない。委員の意見は大事なものだ。

計画は様々な制約の中で作っていく必要があることから、皆の意見を考慮しつつ、事務局サイドで検討してもらえたらと思う。

委員、回答にはなっていないが、検討するという事でよいか。

## 委員

---

はい。

## 委員長

---

次の意見だが、環境教育、環境学習というものに重視してほしいという点についてはいかがか。

## 委員

---

小学校では、地球環境は理科で、食糧生産などは5年生の社会科で学習している。広く言えば、低学年の1年生から生活科で自然とふれ合いながら、自然の大切さなどを学んでおり、高学年になるほど、環境問題にも触れるような学習をしている。更に子供達の意識を高めるような学習として、総合的な学習の時間を使って、テーマを持って環境について考える場面を設けている。学校では、これまでも、これからもやっていくし、SDGsも5年生の社会で触れているし、直接的な学習をしている。

## 委員長

---

以上で良いか。他に意見があるか。

## 委員

---

気候ネットワークの専門家の話を聞いて、初めて、こんなことになっているのかと、こういう事をすれば、実現できるという事を聞き、日ごろの授業で取り組んで頂けるのはありがたいことだが、専門家の話を自分が直に聞くというのは、ものすごく大きなことだと思った。せっかく委員のメンバーに専門の方がいるので、ぜひ生の声を聴かせたい。子供達の地球の未来なので、彼らの為に何かやっていく事が良いと思う。

## 委員長

---

委員の体験に基づく意見については、しっかりと計画に反映させながらそういう動きが出てくるようになるとういと考えている。

## 委員

---

環境教育に関して、極めて重要だという事は私も賛同する。私も社会心理学の観点から、なぜ人は気候変動問題を頭でわかっているのに心が受け入れられないのかという事と、環境

教育を結びつけてやっているのか、専門なのでまさにそう思う。

日本の環境教育に関して、自分自身が何かをしなければという事をよく聞くが、社会をどう持続可能にするかという視点が抜けていることが多い。地球環境と自らの暮らしは学ぶが、地域社会はどうするか、将来の社会像を描く、あるいは、変革をデザインするところが足りないということが色々な論文で指摘されている。

あと 10 年しないうちに、気候変動で言えば CO<sub>2</sub> を半減させるという事になっていくかと思うが、子供達、親の世代も含めて、それを知らずに社会へ送り出してしまうのは、大人として無責任だと思う。環境教育をさらに充実させていくことに大賛成だし、それに関して計画にきっちり書き込んで頂きたい。

## 委員長

---

貴重な意見が続いている。これはしっかりと明記して、後の計画に反映されていく事かと思う。今のところ、そういう理解でよいか。

先ほどチャットで発言をいただいた。

『もし、ワークショップをされるのなら、ぜひイオンモールをお使いください。』

非常に前向きなご提案をいただいた。他はよろしいか。

## 委員

---

向日市は緑を大事にするという事で、竹林などたくさんあるが、今までも田んぼの緑は非常に広がっていたが、JRの東側の田んぼなどが開発されて無くなっているが、緑は人間にとって、癒しの空間だったり、二酸化炭素を吸収してくれたりする大事なものなので、緑の保全についてもっと考えた方がよい。開発＝緑を無くすではなくて、緑を残しながら開発していく向日市の自然のあり方を示して欲しい。委員にはぜひ、敷地の中に市民の憩いの緑ができたねと思えるような場所づくりをお願いしたい。

## 委員長

---

直接、委員の方に意見が向けられたように思うが、いかがか。

## 委員

---

要望はいろいろな所から承っているが、開発の概要はほぼ固まっており、沢山の空き地があるような開発にはならないので、その辺はご容赦頂きたい。

## 委員長

---

また開発される時にいろんな工夫が可能であれば検討頂くということによろしいか。

## 委員

---

ぜひ、善処をお願いしたい。

## 委員

---

いろんな形で地元とのコミュニケーションをとっていきたい。

## 委員長

---

他にご意見あるか。

## 委員

---

向日市の電力はどこから供給されているのかを聞きたい。

## 事務局

---

関西電力となっている。この庁舎については、太陽光発電で運用していくことになる。その他の施設については従来通り関西電力を利用している。

## 委員

---

自然エネルギーという事を非常に言われており、それを導入していかない手はない。気候ネットワークの勉強会の中で、エネルギーを買うための費用が、日本は 17 兆円という事だった。向日市は 62 億円で、その内電気は 25 億円という事。消費税の増税が 23 億円で、電気を切り替えることにより大きなメリットがある事が分かった。向日市が取り組むことを表明すれば、市民にも思いが伝わり、自分の家もそうしようという人が増えるのではないか。まず向日市にはそういう積極的な姿勢を見せてもらいたい。

例えば、先ほどの与謝野町や他の町は脱炭素という事で、二酸化炭素ゼロを表明している。京都府内で自然エネルギーを作っている所もあるので、向日市がそこから電力を買う仕組みができれば、京都府の中でお金が回って外に流出しないで済むという話にもつながる。ぜひ検討していただきたい。

## 事務局

---

只今の内容ですが、確かに私どもも今どのようになっているか、正直言ってわかっていない部分もある。この会議の中でいろんなご意見いただき、検討していかないといけないと考えている。10 年間という期間の中でどう他市と手を携えていくか考えていきたい。

## 委員長

---

自然エネルギー系の電力購入を一括して市役所が行っている事例もあるので、その辺の事例を調べて、何ができるか考えるのも一つの手かもしれない。

他よろしいか。

## 委員

---

先ほどの話に関係することだが、電力の融通だけでなく、川も土地がつながっているため、隣の市との連携も考えて環境問題を考えないといけないと思うが、その点はいかがか。

## 委員長

---

重要な点だ。プラスチックが上流から海の方に流れ込んでしまう事が、世界各国で問題になっていること重々把握している。隣の市町と共同で考えていかないといい事は認識している。

## 委員

---

ぜひ、良いネットワークを作り、隣の市とも協力して環境問題にあたっていけたらと思う。

## 委員長

---

他はいかがか。

それでは次の議題の資料の説明をお願いします。

## (2) アンケート調査について

### 事務局

---

(資料説明)

### 委員長

---

資料の2から4まで、続けて説明いただいた。以上について、意見をお願いします。

### 委員

---

実際、このアンケートを回答してみた。家庭の電力の使用量のところまで昨日したが、正直面倒くさいと感じた。ちゃんと家計簿をつけている方は出せるかもしれないが、私には無理だった。

また、私と36歳の息子とそれぞれで回答したが、やはり認識の違いがあった。

『無作為に抽出した18歳以上の市民1000人』だが、年代が偏ったりすると良くないと思う。例えば、10代、20代…と分けて抽出できるのであれば、興味深いと思う。

先ほどの環境学習の所にも関わるが、このアンケートに中学生が参加してもらう事は出来ないか。例えば木原委員の講演会など利用できれば、意識が高まっていくのではないか。

次に事業者のアンケートで、『3-1)-8.リサイクルの盛んな舞』となっており間違えている。

『4-2)』の回答だが、会社で自社ビルがある場合は、それが可能であると思うが、賃貸で入っている事業者にとって、『対応するつもりはあるのに出来ない』という場合、私はこれに答えられなかった。少し配慮をいただきたい。

それと、『5. その他 アイデアがありましたら』というところだが、アイデアというのはなかなか出てこない気がするので、意見とか要望とかの方が答えやすいのではないか。

### 委員長

---

複数点ご指摘いただいたが、意見はないか。

### 事務局

---

中学生を対象としたアンケートについて、教育委員会と話をし、可能であれば、行くという方向で検討したい。ただし、設問については、中学生用ということで考慮する必要がある。

### 委員

---

確かにそうだ。彼らも向日市民なので大事だと思う。

## 事務局

---

例えば、市民アンケートは6章までであるが、中学生には1. 2. 3章まで回答いただいてはどうかなど、今ここで、ご意見がありましたらお願いします。

## 委員長

---

いかがか。何か意見はあるか。

時間が限られているので、事務局の方から皆にメールか何かで、後日、意見を伺う場を設けるという形で対応をお願いします。

## 委員長

---

他、意見はないか。

アンケートで電力消費量などを細かく聞く設問があったが、例えば、中学生が家に帰って親に聞き、お父さんお母さんと相談しながら書き込んで持ってきてもらう方が遥かに正確なデータが出てくるかもしれない。

今のようなアンケートのとり方の提案というのは、他の市町村で聞いたことがないので、もし、教育委員会、あるいは先生方と、可能であれば、そういう方向もひとつかもしれない。

他に意見はないか。

## 委員

---

アンケートは、何をしたいか、何を聞きたいかというのがある。質問はいかようにも作れるので、何を聞きたくて、このアンケートを作っているのかわからない。このアンケートをして、市民がどういうことを望んでいるか聞くということか。

## 事務局

---

おっしゃられた通り、現状把握や今後の取組についての順位付けなどに使っていきたいと考えている。

## 委員

---

追加で3つくらい聞きたいことがある。

一つは『2-1)』認知度について、新向日市環境本計画を知っているかどうかとSDGsを知っているかどうかを一緒に聞くのは変だと思う。計画の内容については独立して聞いた方がよい。

もう一点、市民アンケートの9ページの内容をもう少しわかりやすくして、こちらを載せた方がよい気がする。

もう一点は、市民と事業者のアンケートの回収率について、市民は37.3%、事業者は28%で、事業者の方はほぼ100%に近い数字だと思っていたのでびっくりした。そのあたり、どうして市民より低かったのか、教えていただきたい。

## 事務局

---

まず一つ目については、向日市環境基本計画が、SDGsと一緒に入っているのは違うの

ではないかということだが、これについては二つ目の質問と一緒に答えたい。

まず、9 ページの設問について、当初は調査票の中に入れていたが、市民がこの設問を見た時に、難しい内容と思い回収率が下がってしまうことを懸念して、今回除外することとなった。今回のご意見を踏まえ、環境基本計画に関連する設問ということで、9 ページの設問を入れる方向で考えたい。

最後の質問、事業者の回収率が 28%ということについて、正直なところ理由がわかっていない。ただ今回のアンケートについては、40%くらい回答いただく予定で、人数や企業数の数字を決めている。

## 委員長

---

以上でよろしいか。

他に意見はないか。

## 委員

---

向日市環境基本計画というのは、この策定委員に手を挙げるまで実は知らなかった。一般市民もあまり知らないのではないかと思う。質問を受けるのは、これを知っているかというところから始めないと前に進まないのではないか。せかっく、立派なパンフレットがあるのもっと周知などしていかないともったいないと思う。

## 委員長

---

事務局何かないか。

## 事務局

---

9 ページの設問について、計画の体系に合わせて整理しているが、今回、社会の情勢や環境がかなり変わってきているので、同じような設問をした方が良いのか、あるいは、全く違う観点にした方が良いのか、悩んでいたのが正直な所。事務局としては、これを入れるという方向で進めていこうと思うが、それについて意見を頂きたい。

## 委員長

---

9 ページを入れなおすという事か。

## 事務局

---

はい。

## 委員長

---

副委員長、ご発言頂きたい。

アンケート調査で、重たくて回収率が下がるとか、いろいろ配慮もあるが、全体を見ていかがか。

## 副委員長

---

現行計画の策定の流れが分からないが、やはり前回の総括があって、前回のデータを踏まえ改善するとか、言葉を改めるなどした方が分かりやすいと思ったのが一点。

後、細かい所だが、3 ページで、SDGs やクールチョイスを『知っているか』と知識を問う質問をされているが、それだと分析につながらないと思うので、知識というよりは興味・関心があるかとか、そういったものに変更しても良いのではないかと思う。

もう一点は、自然エネルギーと再生可能エネルギーと両方の言葉を使っているが、国では再生可能エネルギーで統一されているので、その辺の言葉の統一をした方がよいのが一点。

最後に、電力消費量については、環境家計簿とかそういう位置付けになっているが、小学校の活動の中でやっている所もある。ただ、これを問うたからといって、これが計画の中で、どういう風に反映されていくのか、わからないと思うので、例えばある程度の平均をのせて、家族の構成や住居の違いをのせておき、そこからのあなたの所と比較してそれが高いか低いかなるだけでも、もう少し減らしたらいいのではないかという意識啓発にもつながると思う。改善していくべきだと思うのか思わないのかも含めて、そういったところから、いろんなことを分析された方が良いと感じた。

## 委員長

---

このアンケートについて、たくさん意見を出してもらっているが、細かく見ていくと、際限のない時間が過ぎていくかと思うので、また詳細にみていただき、もし意見があるようなら、事務局にメールで連絡してもらおうという事で、事務局よろしいか。

## 事務局

---

よろしくお願ひしたい。

## 事務局

---

1 週間という事でお願ひしたい。

## 委員長

---

1 週間程度を目途に、意見ある方はお寄せいただきたい。

今日の議事の中で話し合うべきところ、まだ多々あるかと思うが、そういうところも含めてメールでいただくということにして、少しまとめの側に入らせていただきたい。

今日は、市民公募の委員から活発な意見をいただき感謝する。まだ発言されていない方がいるので、意見を頂戴したいと思う。

## 委員

---

地域で事業している中で、どのような環境問題に困っているかという事が知りたい。それについて、イオンモールは不動産会社だが、大きな事業を運営する中で、環境問題に対して、どのような手を打てるかという事で、日ごろから取組を進めている。環境について何が困っているかを探りたい、協力したいという姿勢だ。先ほどアンケート、ワークショップという事だが、ぜひ夏場の暑い時期はイオンモールに来ていただきたい。イオンモールは個別空調ではなく、ファンコイルユニットという、チラーを熱源としたものを用いて省エネ空調もやっている。空調機をフル稼働させているイオンモールに来ていただくことが一番いいと思っている。

最後に、アンケートについては、事務局に意見させてもらう。副委員長が最後に言われたように、電気・ガス・水道の数値を出すのは簡単ではありません。私は施設管理の責任者も

しているので、簡単に数値は拾えるが、この数字を持って現状把握というのは良くないと思う。削減目標というのは中学生にも事業者にもとっていただければいいと思うが、これは送電側の関西電力や大阪ガスにデータをもらうとか、モデル数値で現状を把握することが良いと思う。

## 委員長

---

それでは、委員、何か意見はよろしいか。

## 委員

---

当社は向日市に本社を置いているが、活動はグローバルにやっており、基本的にこういう環境問題も含めて、本社にかかわらず、グローバルに対応していきたいと考えており、そういう中で、他市との連携とか、グローバル面からいろいろ話があった時にサポートしたいと考えている。今建設が進んでいる向日町プロジェクトの中では、どれだけ地元の皆に貢献ができるか、見えない所はあるが、それを含めて、当社全体でも、非常に環境それから、SDGsを進めているので、向日市の皆と一緒に地区を検討していければと考えている。

## 委員長

---

それでは、委員。

## 委員

---

私もこういう会議は今日が初めてで、向日市の環境基本計画が策定され、今までやっていたという事を初めて知った。意見や内容を見聞きして、私は環境問題について関心はあるが、自分でどこまでやっているかと思うと最低限の事しかやってない。これからここで勉強して、出来るだけのことをしようと思うが、まず今日のアンケートで、電気やガスのエネルギー使用の年間消費量、金額を記入するとあったが、ここまで書くのは、アンケートとしては重たいのではないか。アンケートに回答することは問題ではないが、資料を引っ張ってきて書くとなると、ここでストップするのではないか。そういう点も踏まえて、これから市民が計画に多く参加しやすいように、いろいろ検討させていただきたい。

## 委員長

---

それでは、委員。

## 委員

---

アンケート調査の件で、今回は18歳以上の市民から1,000人を無作為に選んでという事だが、委員から中学生もという話があった。子供にも環境に対して、いろいろ考えもあるだろうし、高校生も含めて、聞いてもいいかと。そして質問の内容も計画に反映していけるものでなければいけないので、出来るだけ多くの方に回答いただけたらと思うので、わかりやすい、この計画に反映しやすいような内容に修正できたらと思う。年齢層も、高齢者でも中学生でも回答しやすいような質問に訂正して頂きたい。

## 委員長

---

それでは、委員。



## 委員

---

小学校の子供達というのは、スポンジのようにいろいろなものを吸収する。最初に意識を持たせるような教育は本当に大事で、学校では環境教育を大事にしていきたいという事は今日の会議で感じた。

先ほど話にあったように、子供達から家庭の方に、学校で学んだことを家庭に持ち帰って、保護者と環境について話し合うのは本当に大事だと考えている。

アンケートに関しては、全員対象となると難しいと思うが、中学生であれば、学習をしている学年にクローズアップしたり、学習に合わせてアンケートを取るなどしていけば、さらに学習も深まるかなと思う。

また学校に持ち帰って、考慮したい。

## 委員長

---

それでは、委員。

## 委員

---

皆の貴重な意見がたくさん出ているというところで考えており、市の取組、府の取組、そして国の取組、それから国境を越えた世界の取組が地球環境問題には必要と思っている。現在コロナ渦という中で、乙訓保健所については、環境問題だけでなく、感染症防止というところで非常に、今緊張感をもって地域医療と連携して取り組んでいる所だ。

今この管内でも、陽性者のピークをむかえているところで、ワクチン接種というのも市町村を中心に、しっかりと取り組んで頂いているので、先ほど環境の計画を立てる時にワークショップという取組が非常にいいと考えたが、イオンモールの提案で、天井の高い、蜜にならない所での提供という事で、実施のタイミングというのが非常に課題になってくると思いつつも、やはり皆でいろんな意見が出るという事が大事だと思っているので、保健所としても協力できることがあれば、いろんな提案をさせていただければと感じた。

引き続きよろしく。

## 委員長

---

ワークショップというと、飛沫感染が心配されるので、実際問題考えないといけないということになるが、そうした場合はご協力お願いしたい。

それから、委員、いかがか。

## 委員

---

4月に着任して、まだ勉強不足だ。本日は本当に貴重な意見を皆から頂き、大変勉強になる。向日市の庁舎も新しくなり、まちも大変かわってきているので、また市政50周年という年を迎えるにあたり、このような計画を皆様と立てることができ、大変うれしく思う。市民の皆様のご意見を活かして、良い計画だけでなく、それを実行していきたいと思っているので、引き続きご協力をお願いします。

## 委員長

---

それでは、委員。

## 委員

---

何度も発言しているので、特にはないが、この計画で私たち委員もだが、事業者の方にも市民の方にもどれだけ本気度を示せるかというのが、相当重要だと思うので、委員の一人として心して参加していきたい。これからもよろしく。

## 委員長

---

それでは、委員。

## 委員

---

私の方からも特にはないが、市民の方のビジョンを集めて、それを反映できる様な計画を立てていけたらと思う。

## 委員長

---

皆様方、ありがとうございました。今日出た意見を大切にしながら、取り組んでいけたらと思う。とりわけ、ワークショップという意見や、中学生というキーワード、それから、計画が周知されていないという話、いろいろあり、課題はとても大きい。環境基本計画が出来上がり、これができたという事を知らないというのが圧倒的 majority というのは、ちょっと困る。作りながら、市民、企業の皆と交流しながら、練り上げていき、それがゆくゆくは地域社会が環境に対する力を持っていくという事が大事かと思うので、計画だけに留まらず、社会にも目を向けながら取り組んでいけたらと会長の個人的な意見として思う。

## 4. その他

### 委員長

---

時間がきたので、これで今日の会議を終わらせていただきたい。

最後に事務局にお返りする。

### 事務局

---

申し訳ない、こちらの回線が途絶えてしまい、委員長のお言葉が聞けなかった。

今後、このWEB会議の開催の仕方についても、もう少し勉強する。

### 委員長

---

では、ご協力いただきましてありがとうございます。熱心に発言しているので、きっとこれは良いものができていくと思う。

またこれからもご協力の方よろしく。

本日はどうもありがとうございます。

## 事務局

---

最後に、今日の意見を用紙にまとめて、報告させていただく。

それから、アンケートの事について、期日を設けたい。アンケートに対するご意見については5月26日までに、事務局へメールで頂ければありがたい。

また、リクエストのあった資料について、前回の計画の資料と、進捗状況についても委員に改めて送る。

次回の会議は7月頃を予定しており、基礎調査の結果やアンケート速報について検討していただきたい。日程調整については改めて連絡させていただくので、どうぞよろしく。

それでは、本日はこれにて閉会させていただく。

## 5. 閉会

以上